


就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

法人名	特定非営利活動法人 mi&go	事業所番号	3510300464
住所	山口県萩市椿東 2917 番地	管理者名	田中真一
電話番号	0838-22-5237	対象年度	令和 7 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><研修内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修講師 株式会社クレッセンス（経営コンサルタント事業）、社労士法人エースクルー（社会保険労務士）と連携した、主に業務研修 ・実施日程 随時 OJT による ・剪定位置の判断基準 ・選別基準の理解 ・コンテナ分別ルール遵守 ・作業速度の維持 <p>（管理者が月 1～2 度訪問時にも、作業内容確認）</p> <p>実施の概要</p> <p>たとえば、収穫業務だけでなく、剪定した柑橘類がその後どういう製造工程を経て商品化されるのか。全体像を見せながら、その業務の意味づけを伝えていきます。</p> <p><成果例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・剪定 1 コンテナあたり平均 25 分 → 18 分 ・指示回数 1 日平均 12 回 → 6 回 ・単独作業可能利用者 0 名 → 1 名 ・担当工程 収穫のみ → 収穫＋選別＋搬送 <p><課題点></p> <p>再現性確保のため作業標準書を作成がまだ十分ではない。</p>	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・後工程を想定した品質管理能力の習得 <p>単に柑橘類を剪定すればいいのではなく、それぞれの個体を傷つけないようにするにはどのようにハサミをいれるべきか。工場に持ち帰った時の洗浄、選別を見据えたときに、剪定後はコンテナにどのようにわけていれるべきか。工程先を想定しながらの作業を考慮することで、工程理解能力、品質判断能力、作業優先順位の判断能力を習得していきます。</p> <p><利用者にとってのメリット></p> <p>どの作業にも、その先の工程を見据えて今何をすべきかを考えることができるようになります。</p> <p><活動の様子></p> <p>研修を受けた実際の活動の様子の写真</p> 
---	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>OJT 実施研修先企業（担当者）</p> <p>株式会社柚子屋本店 木村農場長様</p>
<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>ミーゴさんと一緒に仕事をして約 1 年半になりますが、はじめに比べ仕事の速さ、質、効率が上がり指導員の方の指導のもと、農業全般を任せられるようになってきていると思います。利用者の H さんには、一般就労をご提案させていただいたほどです。そのくらいにまで、皆さん熱心にお仕事に向き合ってくださいありがとうございます。体調面に気を付けてこれからも作業していただきたいと思います。</p>

今後の連携強化に向けた課題

農場長より一般就労の打診があったことから、雇用可能水準の作業能力に到達したと評価しています。

さらに、任せる農場を増やしていきたいということなので、再現性確保のため作業標準書を作成して、多くの利用者さんの受け入れに対応する土壌を備えていく。

また、来年度は従事者全員が講習を受けて、機械を扱えるようになっていくことを目指す。

利用者からの意見・評価

・一般就労を打診され、まだ自信がないのでお断りしましたが、そのように評価されている点は励みになります。（Hさん）